

常盤台一・二丁目町会マンスリー

2025年2月号 No.62

Facebook: 常盤台一二丁目町会 TEL/FAX: 03-3969-8121

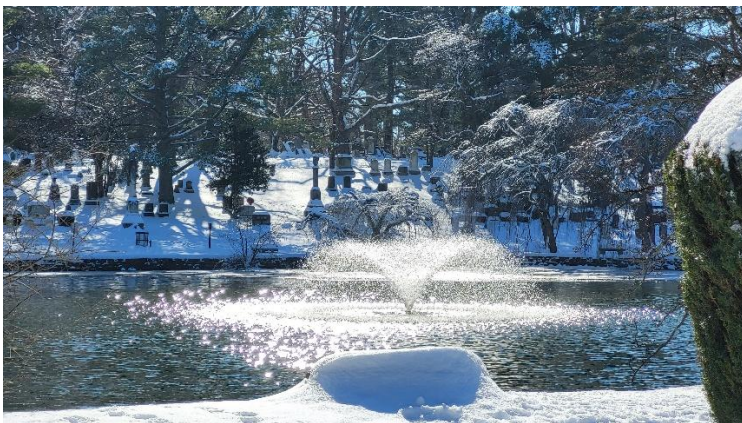
※ 町会ニュース、マンスリーを Facebook に掲載中

アレックスさんからの便り

早大留学のため 2019-20 年に常盤台柴崎さん宅にホームステイしたアレックス・パステルギウさんから町会にメッセージが届きました。現在、米国ケンタッキー州にあるパターソン外交大学院にギリシャから留学中です。

『常盤台の皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます！ ケンタッキーは今、深い雪と霜でとても寒く、道は凍結し、草木も雪をかぶっています。家の中で楽しむのが得策な時です。日本人の学友とキャンパスでカードゲームなどを楽しんでいると、常盤台で過ごした時のことを思い出します。常盤台の人たちはとても親切で、伝統的な日本人の心を持って接してくれ、そこから多くのことを学びました。常盤台の皆さんは新年を家族、友人と楽しく過ごし、地域の人々がより親しくなり、より良いコミュニティを築かれていると思います。』

私は外交大学院の2学期目でとても忙しいです。防衛国家戦略、諜報分析、サイバーセキュリティなどは特に興味深く、とてもエキサイティングです。無事修了し、学んだことを実践に生かしたいと思います。(裏面に続く)



米国では大統領選があり、トランプ大統領(二期目)が選出されました。次の4年間は日本、そして世界の国々の繁栄に繋がることを願っています。トランプ大統領の政策は予想できないところがありますが、日本はこれまでも多くの厳しい状況を乗り越えてきたので、生かすことを期待しています。

米国は大きな変化が予想され不確実な状況です。しかし、政治や国際情勢、外交を勉強する学生にとってはとても刺激的な時です。トランプ大統領は防衛、経済、移民、外交について変革を行うと誓っており、国際政治の大きな変化が予想されます。あらためまして良い年をお迎えください。

アレックス・パパステルギウ(Alex Papastergiou)

あずきの話(19) 2月(如月)の上生菓子

陰暦二月は「如月(きさらぎ)」で、2月の異称として使われる。まだまだ寒さが厳しい時期ために、更に衣を重ね着するという意味から「衣更着(きさらぎ)」になったという。それが、「如月」になったのは中国2月が「如月(によげつ)」とよばれるためらしい。めでたさを表現したものだろう。

○梅に鶯(うぐいす) 花札でも有名な早春の絵柄。本来、鶯は茶色い鳥(綺麗ではない)だが鳴き声が美しいのできつときれいな鳥が鳴いていると思い、メジロを鶯だと思ったという。

○水仙(別名 雪中花) 雪の中でも咲きだし春の訪れを知らせる。

どちらも煉切製 こし餡。ちなみに、「煉切」(ねりきり)とは、白あんを硬めに煉り、求肥を加えて煉り上げたもの。和菓子の中でも「上生菓子」で多く用いられる。季節の移ろいを和菓子で精妙に表現する。白あんをベースに求肥などのつなぎを混ぜ、ちぎっては煉り、という手の込んだ作業を繰り返してできた練切あんを着色、成形して作る。



梅にうぐいす



水仙(雪中花)